

# 西平よしまさ

## 後援会 総決起大会

1,200人参加

2010  
12.26

# 地を 行へ

## 「改革」から創造へ

## さあ、始めよう。



### 西平よしまさ演説要旨

本日は大雪の中、大勢お集まりいただき感謝申し上げます。この悪天候が、私の今の置かれている状況かと思ひ、正直どのくらいの方がお見えになるか不安な気持ちでしたが、本場にありがたく勇気をいただきました。この会場の皆様、弁士の方々、雪の降る中で駐車場の整理や会場設営を黙々と進めてくれる仲間たちのおかげで、私はこの場に立つております。私は一人じゃないと思いを強くしたところです。

### 政策の三本柱

私は、阿久根の現状の「改革」は（破壊を伴う危ないものだと思っています。私は法律を守り、対話を尽くした手法による

改革「食のまち」と「協働」の考え方を軸とした方向で阿久根の再生を図ります。そして政策には3つの柱を掲げます。

- ① 地に足をつけた行政改革
- ② 弱者に配慮した福祉・教育の充実
- ③ まちに元気を取戻す施策

### 行政改革

職員給与の査定には、外部評価の導入により、職務評価、目標管理の方法を取り入れて、能力や責任に応じた給与体系とします。また民間同様、役職定年制を敷き、人件費の総額を削減します。さらに職員給与の一部を地元商品券化も行います。

### 福祉・教育

独居老人の方々も安心して暮らせるために様々な施策を実現し、また子育て支援にも力を注ぎます。

一つの例ですが、地元の子どものための全国大会出場への補助も実施します。先日は、阿中陸上部が全国駅伝大会で11位の立派な活躍をしてくれました。他県のチームから「あの阿久根に負けるなよ！」などとあざけりを受けたと聞き、悔しい思いです。そうした中傷にも負けず、素晴らしい子どもたちが阿久根の宣伝をして

くれる。こうした事に投資するのは当然と考えます。

他にも専門的な教員派遣により、障がい児も健常児も一緒に遊べる児童保育所、障がいに応じて通える小学校をつでも作ります。障がい児と健常児が一緒に学び、遊ぶことで、人に優しい気持ちのこもった教育ができるはずですよ。

### 元気なまち創り

食のまちづくり推進のため、現在の農政課、水産商工観光課を改編し新たに「水産農林課」を創ります。併せて、商工観光課と企画調整課を併せて「まちを元気にする課」としたい。削るだけの「改革」ではなく、発展的な機構改革を進めます。

また阿久根の二次産業の素晴らしい産物に、加工・流通・販売機能を付加して、付加価値の高い六次産業化をすすめ、より一層の振興を図ります。そのためには外部の補助金等の有効活用が必要です。漁獲高を上げるのは難しいにしても、水揚高を上げるのは可能ではないかと考えます。

他にも、毎年のように修善が必要となつている市民会館も新しい機能的な文化会館への建て替えを計画し実施します。

これらの諸政策について、常に財源の裏付けを持つて進め、子供達に「負の遺産」

を残さぬよう進めて行きます。

首長の仕事とは国や県にも積極的に向いて予算を確保し、皆さんの生活、仕事の下支えをするのが本来の役割だと思っています。我々、若者世代はこれからの不安な時代を愛い立ち上がりました。先人から引継いだこの阿久根という財産を次の世代にきちんと引継ぐのが私達の使命です。

「けんかきい頑張ります」

本日はどうも有難うございました。

### ※西平の行革とは

職員給与の削減は、今のボーナスカットされた総支給額をベースに、さらに4年間で15%カットを目指します。そこから生まれた財源を活かしてマニフェストの実現に邁進します。また地元人材の積極活用により、より地に足のついた行政運営ができるように役所機能をアップします。

### ※西平の議会改革とは

議会と首長は、互いに独立した機関ですが、あえて積極的に、議会へ提言し、互いのレベルアップを図ります。例えば、志のある市会議員育成のために、定期的な「公開政策発表会」参加を立候補者に義務づけるなど、新しい議会と首長の在り方を模索します。